

CYBERNET

証券コード4312

サイバネットシステム株式会社

2022年12月期決算説明会

2023年2月17日



1

サイバネットシステムについて

2

2022年12月期決算説明と2023年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

代表のコミットメント



代表取締役社長執行役員

安江令子

経歴

松下電器情報システム名古屋研究所、米国半導体大手のモトローラ社、Qualcomm社などを経て、富士ソフト入社、同社常務執行役員国際事業部長等を歴任後、2018年サイバネットシステム副社長、2019年より代表取締役社長執行役員。2020年6月タカラトミー社外取締役。2021年3月ライオン社外取締役。

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当社は、開発・設計工程等の分野において、モデル化とコンピュータ上で数値シミュレーションを行い、さまざまな課題を解決することを強みとしています。

カーボンニュートラルの実現や気候変動への対応、新たな素材開発や革新的な製品の開発等には、当社のコア技術であるシミュレーションは欠かせないものであります。更に、シミュレーションにAI、AR/VR等の技術を組み合わせることで、お客様のDX推進もご支援しております。

2022年12月期は、36年間にわたり販売してきた光学CAE(※)ソフトウェアの販売終了により、減収減益となりました。しかしながら、2023年12月期はV字回復の年とし、長期的には世界のシミュレーション業界をリードするグローバルカンパニーへの成長を目指します。

配当政策は、DOE(純資産(自己資本)配当率)6.0%を配当の目安とし、安定配当と業績回復・成長により、企業価値向上にコミットいたします。皆様との対話も積極的に行ってまいります。

ぜひ、投資をご検討ください。

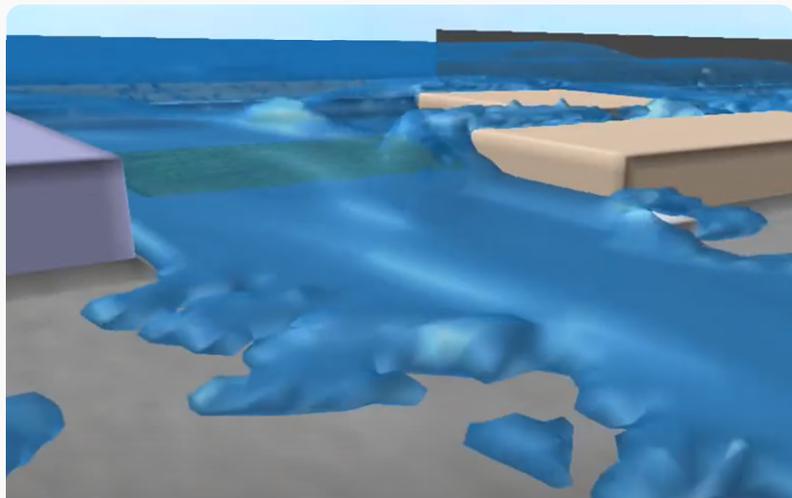
※CAE(Computer Aided Engineering)は、製品開発の初期段階から、コンピュータを用いた仮想試作・仮想試験を行い、少ない試作回数で、高品質な製品開発を行うためのコンピュータを活用した設計技術です。

当社はシミュレーションのリーディングカンパニーを目指します。

当社のシミュレーション技術は、**モノづくりの開発・設計工程**において、コンピュータ上で数値シミュレーションを行い、製品の性能や信頼を予測することで、**試作回数の削減、開発スピードの短縮、コストダウン、イノベーション**に貢献しています。**モノづくりに限らず**、サステナビリティ等の社会課題の解決においても、シミュレーション技術が不可欠であり、活躍の場を広げています。



様々な領域でシミュレーションが活用されています。



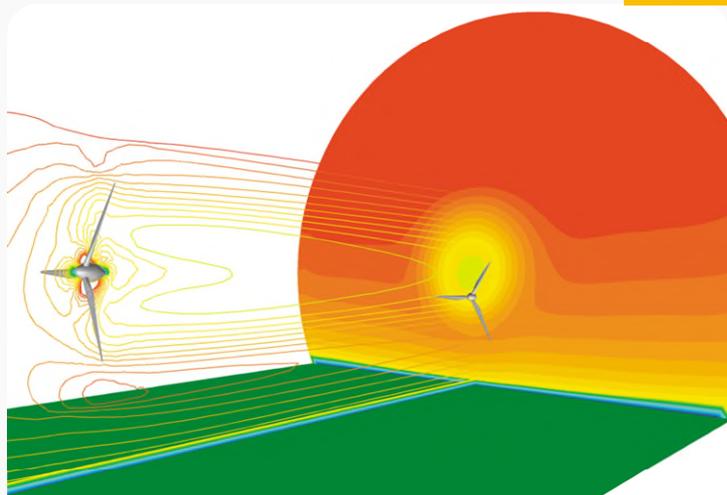
津波のシミュレーション結果を可視化し、
災害の影響を再現



ドローンの振動およびブレード形状の最適な設計に貢献

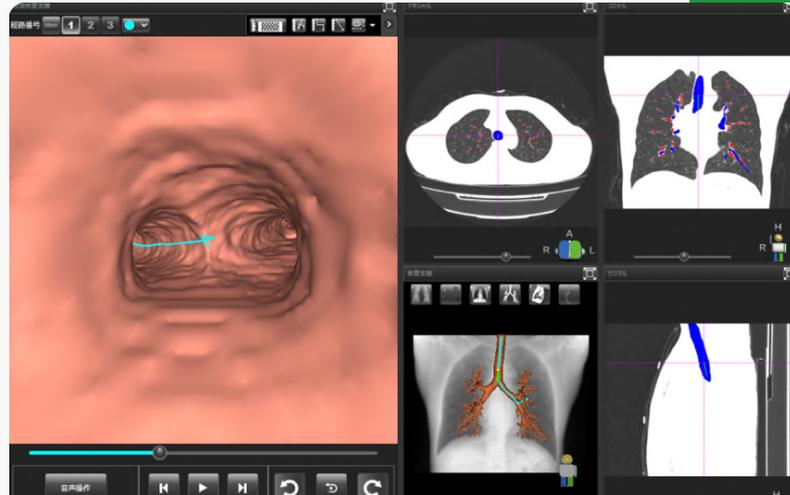
シミュレーションはサステナビリティの実現には不可欠な技術です。

7 エネルギー効率を
もってタービンに



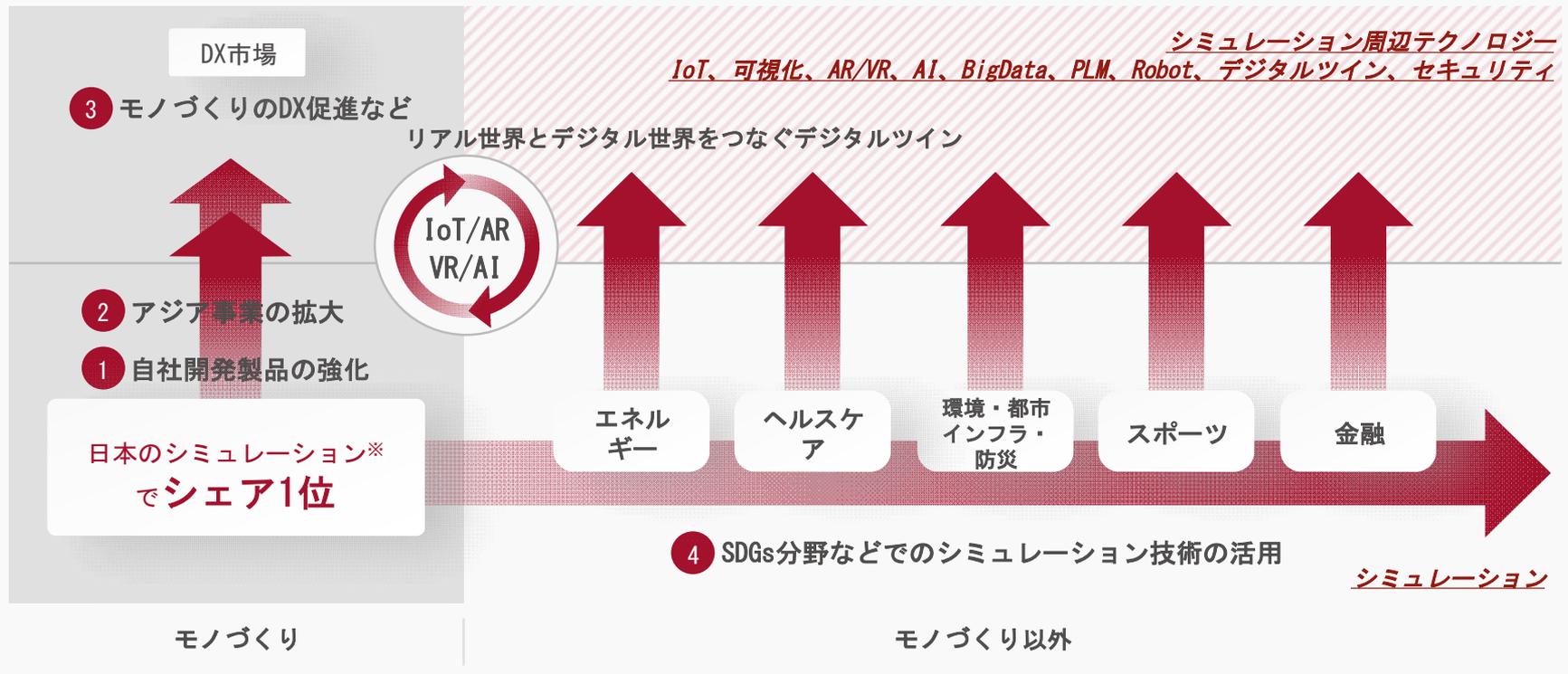
風力発電装置の発電効率、安全性向上に貢献

3 すべての人に
健康と福祉を



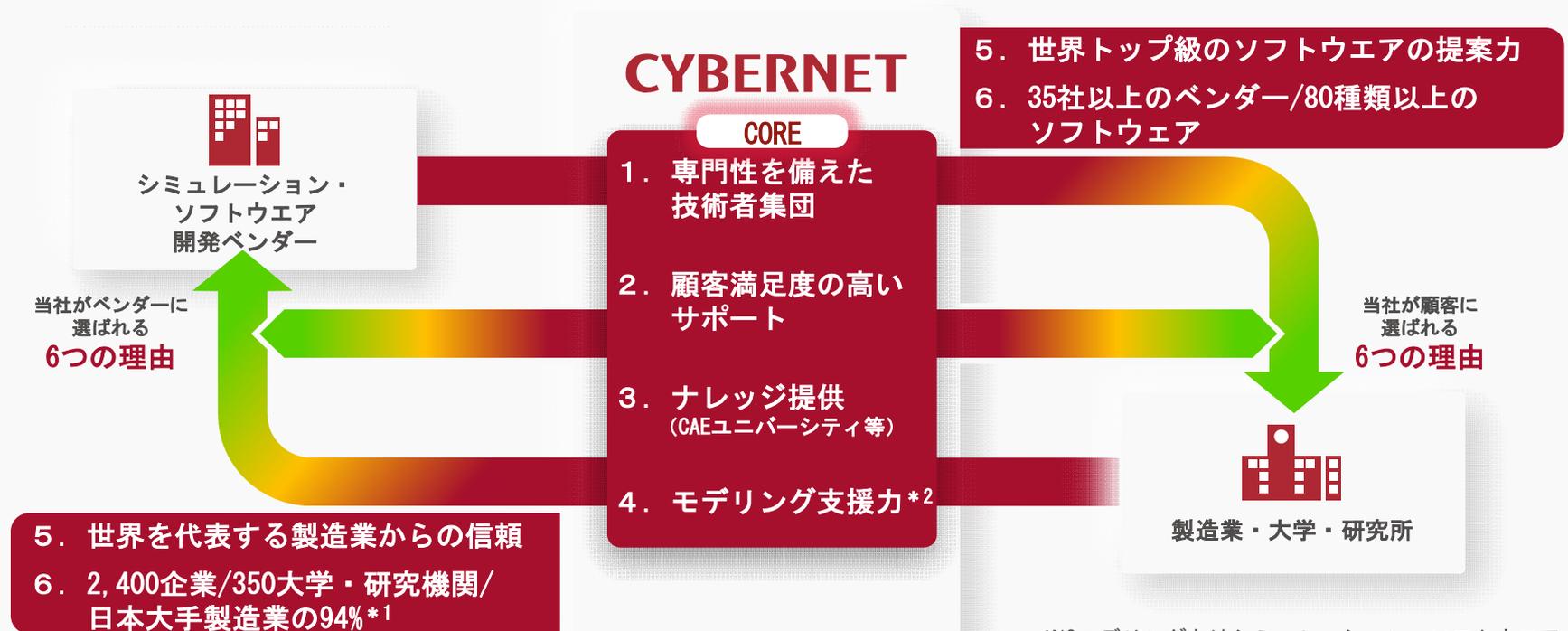
内視鏡検査結果をリアルタイムに合成表示することで
医師の診断を支援

当社はシミュレーション技術と周辺テクノロジーでお客様のDX促進を支援します。



※ 日本市場での機械系CAEソフトウェア販売1位。

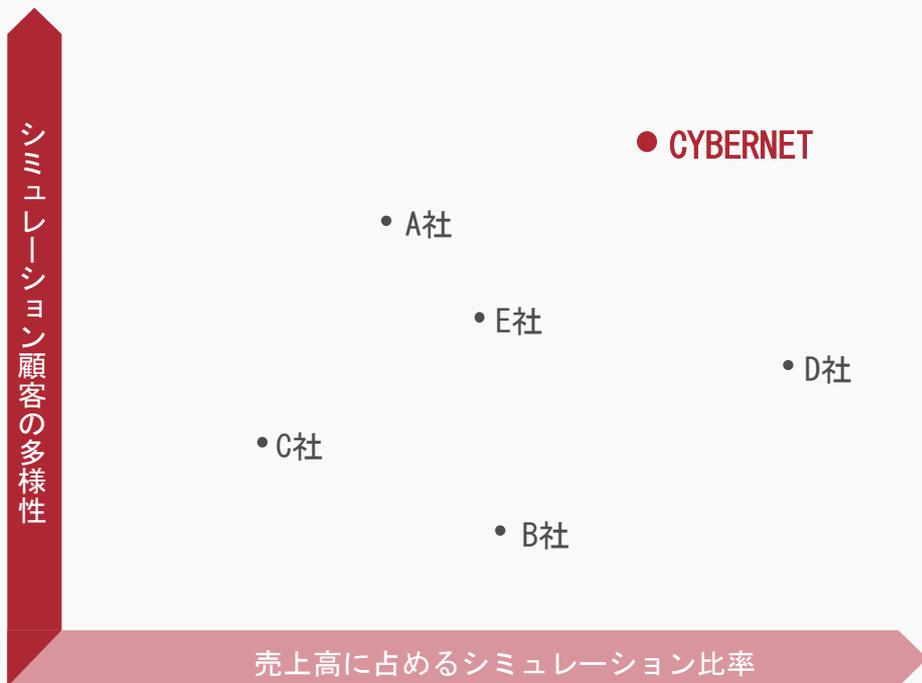
技術力、サポート力、ナレッジ提供力、モデリング支援力等が当社の競争力の源泉です。



※1食品・非製造業を除く上場企業の売上上位100社について過去3年の実績 (2022年3月現在)

※2モデリングとはシミュレーション・ソフトウェアを活用して、物理法則等にしたい物理現象等のシミュレーションモデルを構築、解析することです。経験豊富なエンジニアによる支援が不可欠です。

シミュレーションへの専門度の高さ、広い顧客領域が当社の特長です。



※ 各社IR資料をもとに当社作成

サイバネットシステムの特長

- 高い専門性技術を備え、幅広いシミュレーション領域をカバー。
- 約2,400企業&350大学・研究機関のユーザーに提供。
- これまではモノづくり向けにシミュレーションを提供してきたが、モノづくり以外の分野向けにも注力。

数字で見るサイバネット

① 豊富な実績 高い信頼

日本での
実績 **37**年

米国スーパーコンピューター会社の東京拠点が原点。一貫して製造業の開発・設計シミュレーションを支援。

② シミュレーションの リーダー

機械系
CAE市場 国内 **1**位

日本市場での機械系CAEソフトウェア販売1位。

③ 技術に強い人財

エンジニア
比率 **45%**

グループ社員の45%がエンジニア。コンピューター知識と工学知識、経験が強み。

④ 積極的なナレッジ提供 CAEユニバーシティ開催¹

110回/年

他社にはない当社独自の取り組み。シミュレーションの実務者に質量ともに圧倒的な学びの場を提供。

⑤ 最強のCAE製品開発 ベンダーと良好な関係

当社が取扱う
ANSYS社のCAE製品 世界 **1**位

ANSYS社はCAE製品世界シェア約38%のトップ企業。同社の最高レベルパートナーに8年連続で認定。

⑥ 強固な財務体質

ネット金融
資産² **153**億円

強い財務体質により、成長投資と株主還元の両立が可能。

⑦ 安定かつ高い株主還元

DOE（自己資本配当率）

6%

DOEを6.0%とし、安定配当を目指す。

※ 2022年12月31日現在

¹ 当社で開催しているCAEのセミナー。
多様な講師陣が講義。

² 現預金＋有価証券＋短貸付金－有利子負債

1

サイバネットシステムについて

2

2022年12月期決算説明と2023年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

外部環境認識と当社2022年12月期業績への影響

外部環境認識

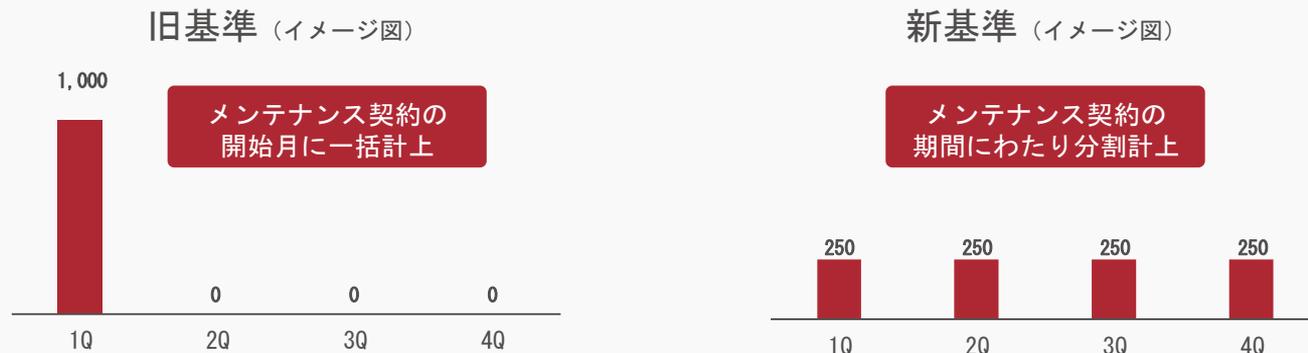
- ロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰やエネルギー不足の深刻化、インフレ率の上昇
- サプライチェーンの混乱等に伴う半導体等の部品や素材不足
- 中国のゼロコロナ政策と、突然の政策中止による感染者数の爆発的増加
- 上記を背景とした世界経済の失速と不透明感
- 働き方改革、企業の競争優位性確保を目的としたDX、カーボンニュートラルの実現を目的としたGXの推進

当社2022年12月期業績への影響

- 世界経済の不透明感を背景に、欧米、アジア等で案件の延伸等が発生
- お客様のDX促進を支援するエンジニアリングサービスが拡大
- 新しい働き方の定着・浸透に伴い、セキュリティソリューションの販売が好調に推移

「収益認識に関する会計基準」等の適用について

- 第1四半期連結会計期間の期首から、「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。）等を適用。
- これにより、代理店事業のソフトウェアのメンテナンスサービス（新規契約のうちの一部、及び、更新契約の全額）については、従来、主として契約開始時点で収益を認識していましたが、契約期間にわたり収益を認識する処理に変更。
- 収益認識会計基準等の経過措置を適用し、過年度の遡及修正は行っていないため、本資料における財務数値の前期比および前期差は参考値（一部、個別の売上高は遡及修正した数値を開示）。



収益認識会計基準等の影響

単位：百万円

	22/12期 [新基準]	22/12期 [旧基準]	影響額		
			シミュレ- ション	IT	合計
売上高	19,936	20,134	-170	-27	-198
売上原価	11,813	11,922	-76	-32	-109
売上総利益	8,122	8,211	-93	+4	-89
販売費および 一般管理費	6,364	6,364	-	-	-
営業利益	651	1,846	-93	+4	-89

471

※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

サマリー

1

2022年12月期の決算・業績

総括コメント

- Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により減収減益。
- 主力製品であるマルチフィジックス解析ツールやエンジニアリングサービス、セキュリティ製品の販売が好調に推移し、売上高は19,936百万円と概ね計画通り。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は999百万円（-13.1%）、EBITDAは2,014百万円（-4.1%）と計画未達。

2

2023年12月期の業績予想

総括コメント

- 売上高は、中期経営計画に掲げる「自社開発製品の強化」、「アジア事業の拡大」、「ものづくりのDX促進」などを推進し、前期比10.4%増の22,000百万円を目指す。
- 長期の企業価値向上のため、人財、システムへの投資を実施。
- 安定配当を重要視し、年間配当金は29円/株を予定。

2022年12月期の業績

- 売上高は主力製品であるマルチフィジックス解析ツールなどが堅調に推移したものの、Synopsys社との販売代理店契約終了の影響により前期比減収。
- 営業利益は、売上高の減少の影響により減益。

単位：百万円

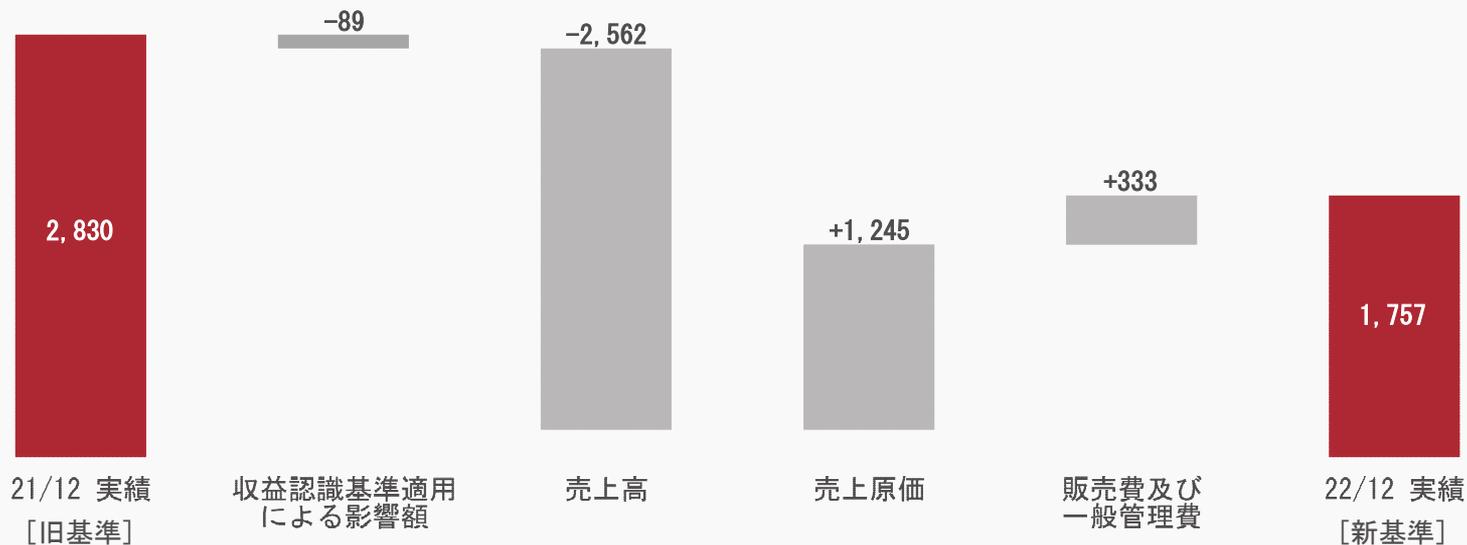
	21/12期 [旧基準]	22/12期 [新基準]	前期比	22/12期 計画 [新基準]	計画比
売上高	22,697	19,936	-12.2%	20,000	-0.3%
売上総利益	9,528	8,122	-14.8%	-	-
販売費および 一般管理費	6,698	6,364	-5.0%	-	-
営業利益	2,830	1,757	-37.9%	1,800	-2.3%
(営業利益率)	12.5%	8.8%	-	9.0%	-
経常利益	2,822	1,693	-40.0%	1,800	-5.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,786	999	-44.0%	1,150	-13.1%
EBITDA	3,072	2,014	-34.4%	2,100	-4.1%
(EBITDAマージン)	13.5%	10.1%	-	10.5%	-
EPS (円)	57.29	32.31	-	36.87	-

※ EBITDA: 営業利益 + 減価償却費

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

営業利益の増減要因（前期差）

- 販売費及び一般管理費は前期比で減少も、売上高の減少により、減益。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期差は参考値。

単位：百万円

セグメント別売上高・営業利益の状況

単位：百万円

シミュレーションセグメント

- 主力製品の保守契約の更新、CAE、AI、AR関連のエンジニアリングサービスなどが好調に推移するも、Synopsys社との販売代理店契約が終了した影響により減収減益。

ITセグメント

- 次世代型エンドポイントセキュリティの販売やクラウド環境向けセキュリティソリューションの販売が好調に推移したこと等により増収。円安による原価率の上昇により減益。

※ シミュレーション：シミュレーションソリューションサービス事業

※ IT：ITソリューションサービス事業

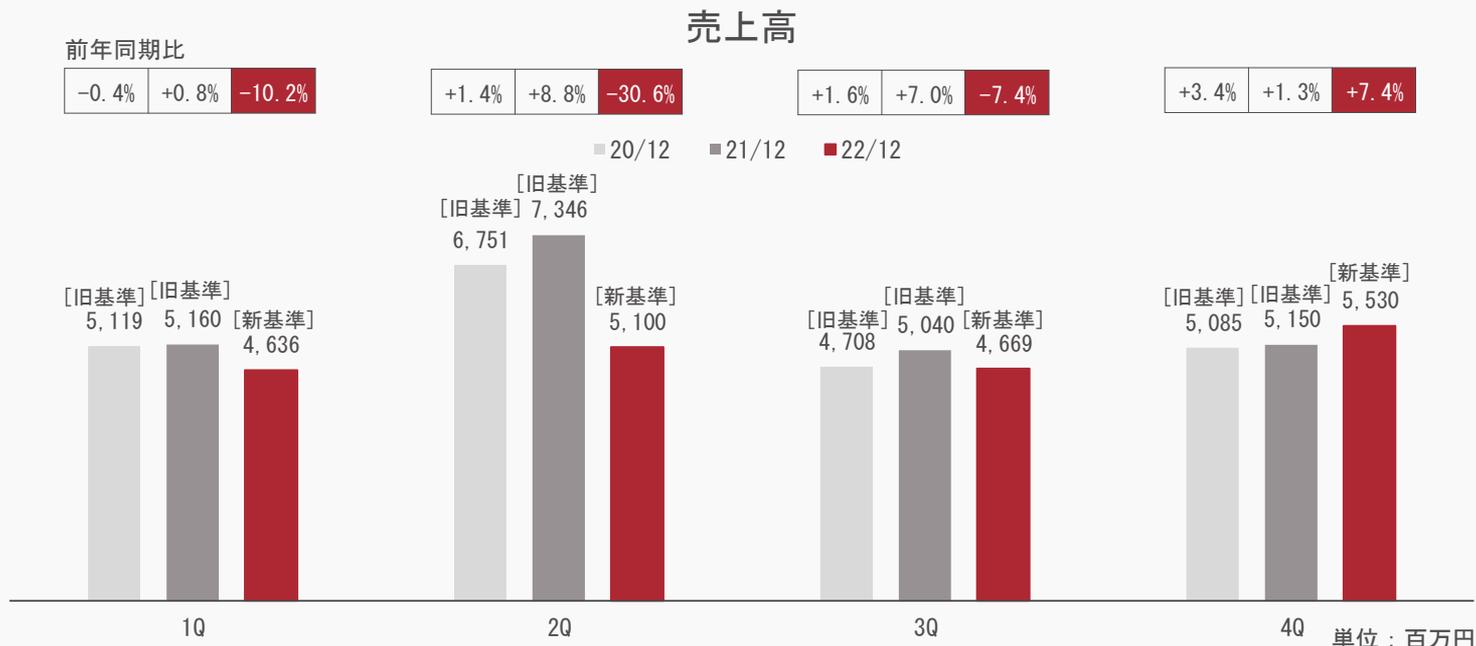
※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

	21/12期 [旧基準]	22/12期 [新基準]	前期比
売上高	22,697	19,936	-12.2%
シミュレーション	18,685	15,784	-15.5%
IT	4,012	4,152	+3.5%
調整額	-	-0	-
営業利益	2,830	1,757	-37.9%
シミュレーション	4,078	2,628	-35.6%
IT	572	525	-8.3%
調整額	-1,820	-1,395	-

売上高の四半期推移

■ 第4四半期は、収益認識会計基準等の適用の影響などにより前年同期比+7.4%。



※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値、前期値および前々期値は旧基準。

バランスシートの状況

- 金融資産は661百万円減少、純資産は982百万円減少、自己資本比率は60.3%。
- 親会社への貸付金（親会社のCMS（キャッシュ・マネジメント・システム））の回収により、短期貸付金は3,579百万円減少。
- 収益認識会計基準等の適用に伴い、株主資本に含まれる利益剰余金の期首残高が911百万円減少。

※ 金融資産：現金及び預金、有価証券、短期貸付金の合計

単位：百万円

	21/12末 [旧基準]	22/12末 [新基準]	前期末差
流動資産	21,526	22,231	+705
金融資産(※)	16,009	15,348	-661
現金及び預金	7,429	8,348	+918
有価証券	5,000	7,000	+2,000
短期貸付金	3,579	-	-3,579
固定資産	1,744	1,924	+179
資産合計	23,270	24,155	+884
負債合計	7,538	9,405	+1,867
流動負債	6,472	8,359	+1,887
固定負債	1,065	1,046	-19
純資産合計	15,732	14,749	-982
株主資本	15,287	14,212	-1,075
負債純資産合計	23,270	24,155	+884
自己資本比率	66.3%	60.3%	-6.0pt

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるCF

- 税金等調整前四半期純利益の減少等により前期比マイナス。

投資活動によるCF

- 貸付金の回収による収入の増加により前期比プラス。

財務活動によるCF

- 自己株式の取得による支出の増加、配当金の増加等により前期比マイナス。

単位：百万円

	21/12期	22/12期	前期差
営業キャッシュ・フロー	2,006	773	-1,233
投資キャッシュ・フロー	628	654	+25
財務キャッシュ・フロー	-872	-1,321	-448
現金・現金同等物の期末残高	12,339	12,750	+410

2023年12月期 業績予想

- 売上高は、中期経営計画に掲げる「自社開発製品の強化」、「アジア事業の拡大」などを推進し、前期比10.4%増の22,000百万円を目指す。

単位：百万円

	22/12期 実績 [新基準]	23/12期 予想 [新基準]	前期比
売上高	19,936	22,000	+10.4%
営業利益	1,757	1,850	+5.2%
(営業利益率)	8.8%	8.4%	-
経常利益	1,693	1,850	+9.2%
親会社株主に帰属する当期純利益	999	1,050	+5.0%
EBITDA	2,014	2,170	+7.7%
(EBITDAマージン)	10.1%	9.9%	-
EPS (円)	32.31	33.99	+5.0%
ROE	6.7%	7.2%	-

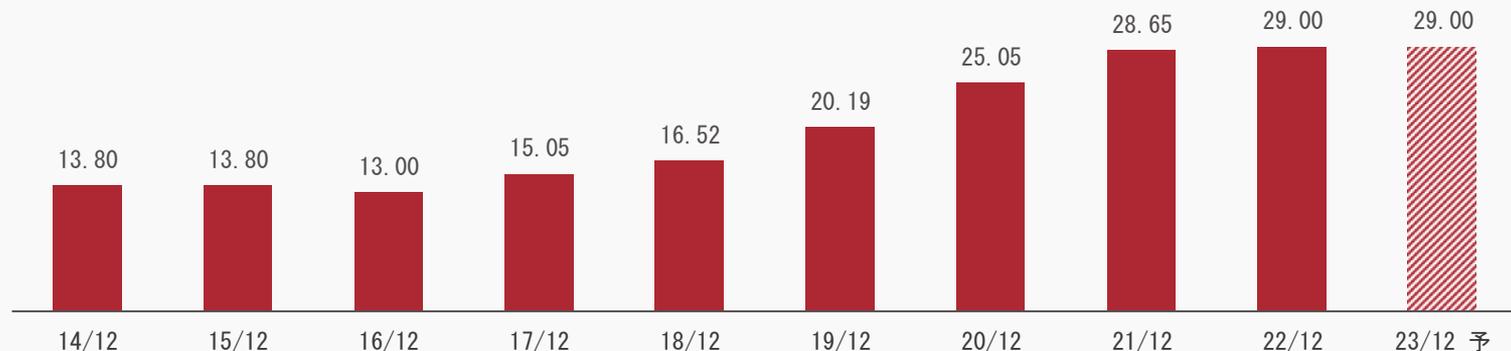
※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

2023年12月期 配当予想

■ 1株当たり29.00円の配当を予定。

株主還元に関する基本方針：株主の皆様に対する利益還元を経営上の重要課題と位置付け、財務の健全性を維持しながら、資本効率を高める。配当は、当面の間、安定配当と継続的な増配を重要視し、「親会社株主に帰属する当期純利益」の範囲を原則として、純資産（自己資本）配当率（DOE）6.0%を配当金額の目安とする。

配当額



単位：円

1

サイバネットシステムについて

2

2022年12月期決算説明と2023年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

長期業績と目指す姿

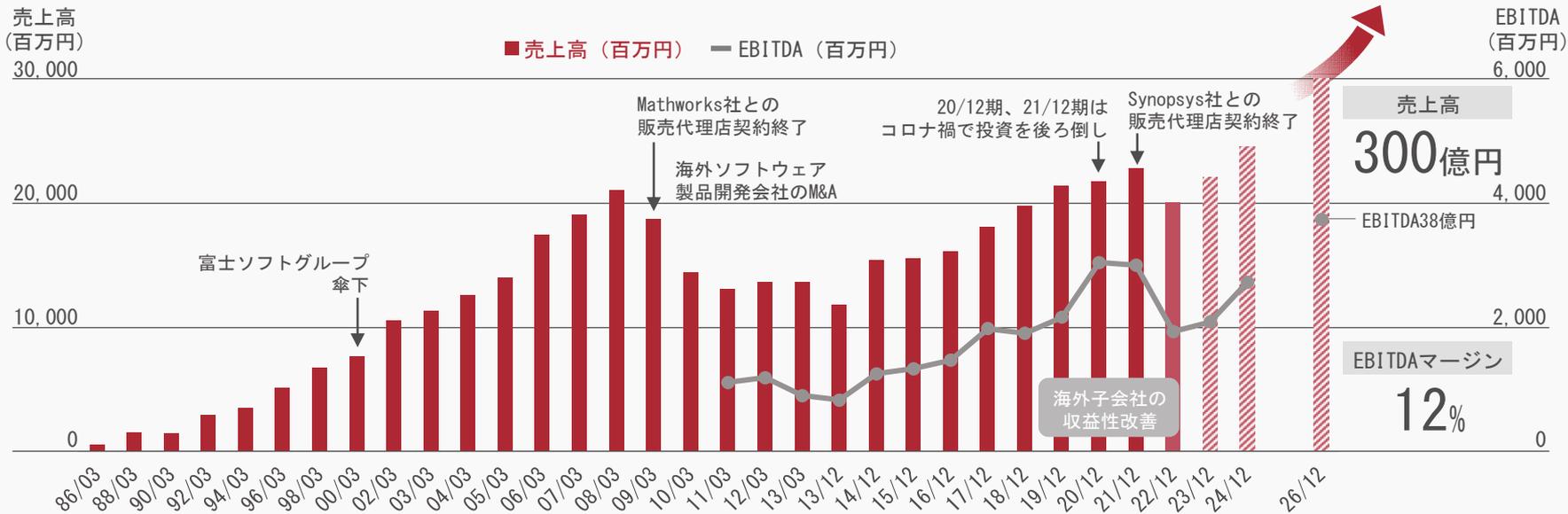
1967年 スーパーコンピューターのパイオニアである CDC社（米国）の東京支社開設が原点

1985年 サイバネットシステム設立

2001年 IPO、2004年東証一部上場、2022年スタンダード市場移行

成長のドライバー

- ① 自社開発製品
- ② アジア事業
- ③ モノづくりのDX促進など
- ④ SDGs分野などでのシミュレーション技術の活用



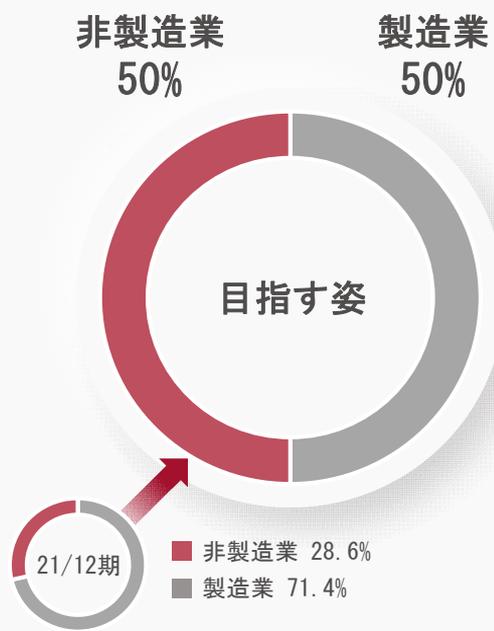
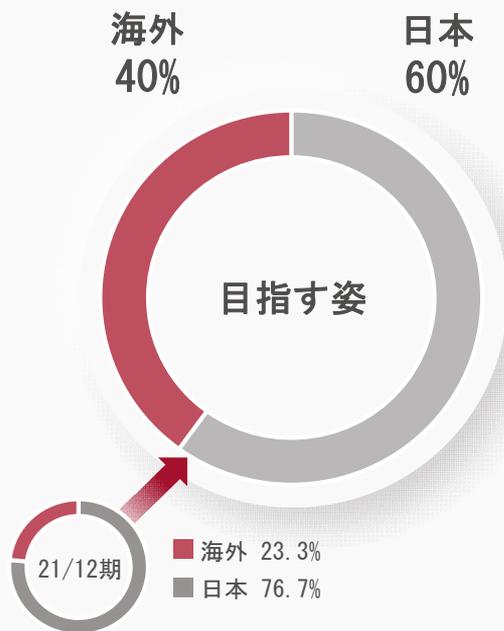
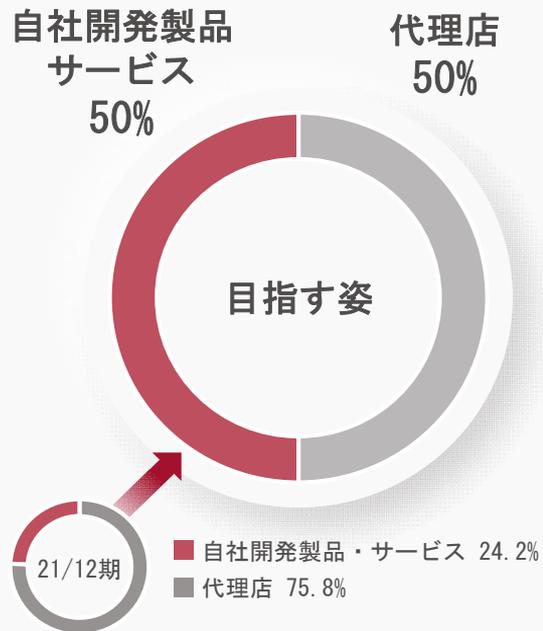
※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費 18/12期までの期間はのれんの償却費を含む

事業構成比率：現在と目指す姿

自社開発製品・サービスの拡大
(形態別)

アジアを中心に海外を拡大
(地域別)

非製造業を伸ばす
([個別]業種別)



中期経営計画の初年度進捗

■ 売上高は概ね計画通りも、EBITDAは、販管費の増加等により計画未達。

単位：百万円

	21/12期 実績	22/12期 計画	22/12期 実績	22/12期 計画差	23/12期 計画	24/12期 計画	26/12期 計画
売上高	22,697	20,000	19,936	-63	22,000	24,500	30,000
EBITDA	3,072	2,100	2,014	-85	2,170	2,800	3,800
EBITDAマージン	13.5%	10.5%	10.1%	-0.4pt	9.9%	11.4%	12.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	1,786	1,150	999	-150	1,050	1,600	2,200
ROE	12.0%	7.4%	6.7%	-0.7pt	7.2%	9.5%	12.0%

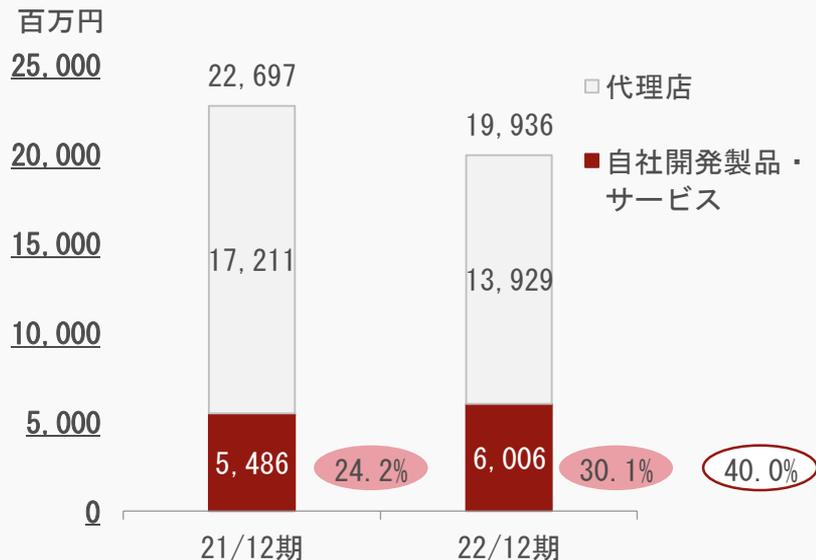
※ EBITDA：営業利益 + 減価償却費

中期経営計画の初年度進捗 ～ 重点KPI

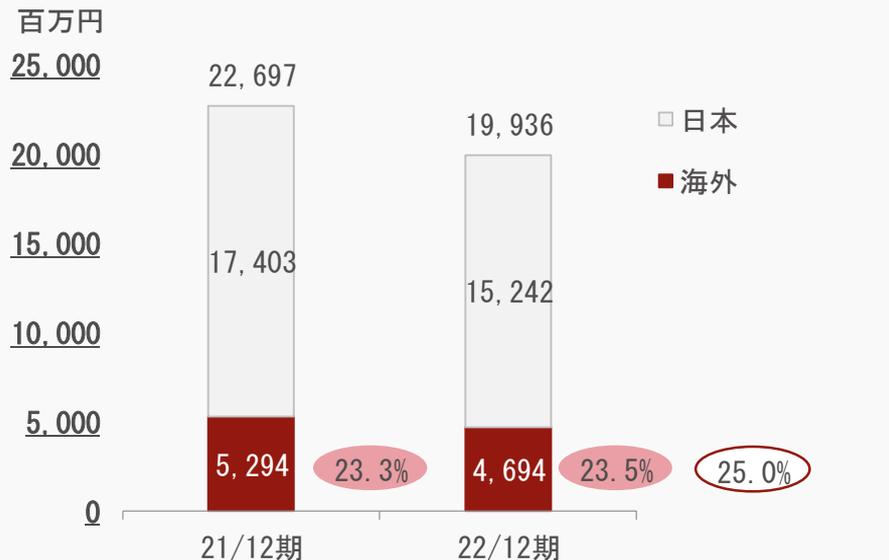
■ 2022年12月期の自社開発製品及びサービスの売上高は6,006百万円。構成比率は30.1%に拡大。

■ 2022年12月期の海外の売上高は4,694百万円。構成比率は23.5%に増加。

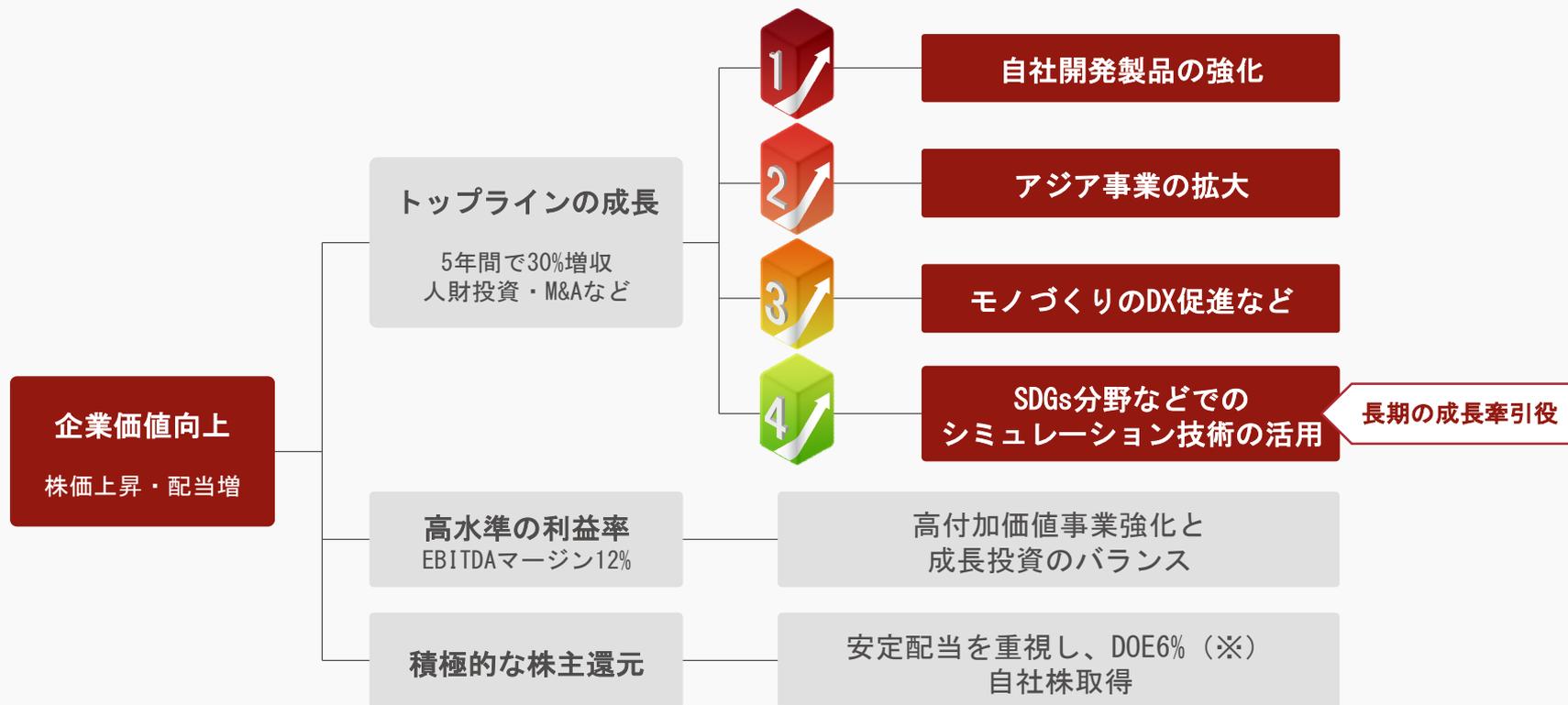
形態別売上高



地域別売上高



長期の企業価値向上の取り組み

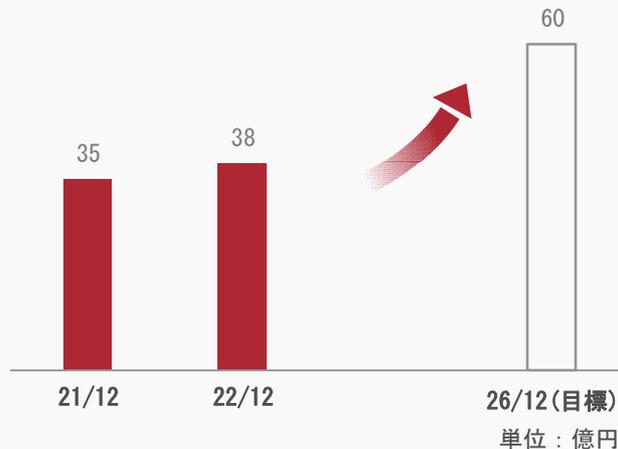


※ 従来は、配当性向50%、D0E3%を指標に活用



- 2022年の売上高は38億円となり、計画通りの進捗。
- 開発子会社は、米国Sigmetrix社が好調。また、円安影響もあり増収。
- 医療用AI製品は、保険適用が見送られ伸び悩んだが、改正薬機法の新制度IDATENの承認取得、新たに韓国での販売認可を取得。

自社開発製品の売上高



- ソフトウェア製品開発子会社は、主力製品の最新版をリリース (Maple、MapleSIM、CETOL 6σ、Optimus)
- AIを搭載した大腸内視鏡画像診断支援プログラム「EndoBRAIN-EYE」が薬機法の新制度IDATENの承認取得
- EndoBRAIN製品の販売対象国に韓国を追加 (現在の販売対象国：香港、インド、タイ、ベトナム、韓国)
- 自社開発製品のビッグデータ可視化ツール「BIGDAT@Analysis」販売開始

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。



- 2022年の売上高は21億円となり、計画（20億円）達成。
- 中国のゼロコロナ政策等を背景に外部環境はマイナス要因が多かったが、光学製品を含むAnsys社製品の売上が拡大。

- 中国は、2022年12月のゼロコロナ政策の中止によるコロナ感染者増により、案件の延伸が発生
- 台湾は、自動車関連や通信 (5G) 等向けソリューションが好調
- マレーシアは、コロナ禍の影響により、新規顧客開拓が遅れ



CYBERNET 中国

CYBERNET 台湾

CYBERNET マレーシア

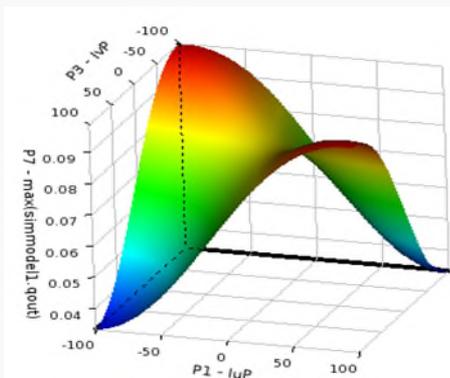
アジアの売上高



- AIやAR関連のエンジニアリングサービスが拡大。2023年度は拡大の加速を見込む。
- サイバーセキュリティ脅威に対応する新規ソリューションの提供を開始。

AI

短時間で解析結果を算出できるサロゲートAI構築ツールの導入をサポート



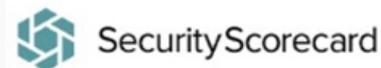
AR

ARを用いて、整備作業の効率化と安全性の確保を実現



サイバーセキュリティ

サプライチェーン・セキュリティの脆弱性を可視化



セキュリティ意識向上トレーニングのプラットフォームを提供

KnowBe4

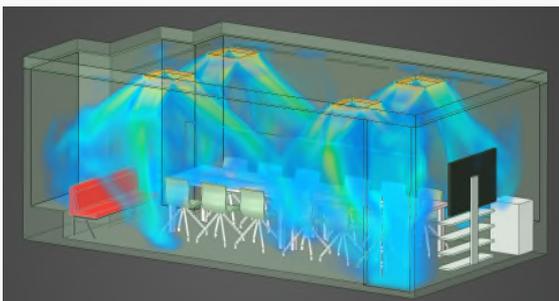


- 脱炭素社会の実現、環境問題の解決に貢献するソリューションを開発し、顧客の課題解決及び社会課題の解決に貢献。



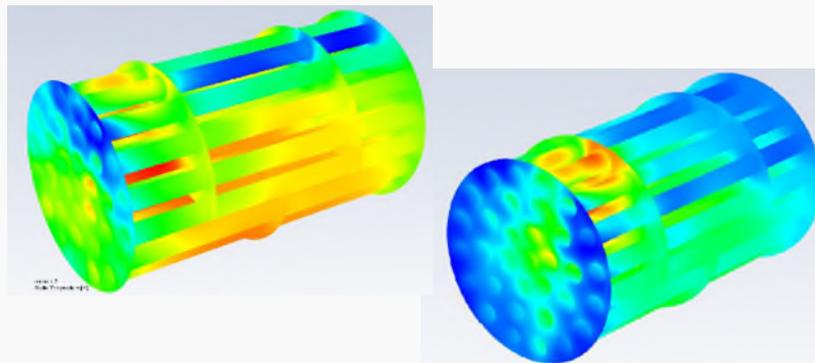
点群データとシミュレーション
技術を用いた換気性能評価

3Dレーザースキャンで得た点群データを用いて3Dモデリングを作成し、気流のリアルタイムシミュレーションと二酸化炭素の濃度分布シミュレーションを組み合わせ、室内の換気性能評価を実現



エネルギー問題の解決に貢献する
熱流体ソリューションによる設計

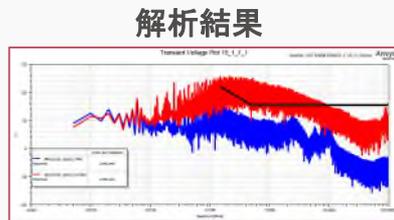
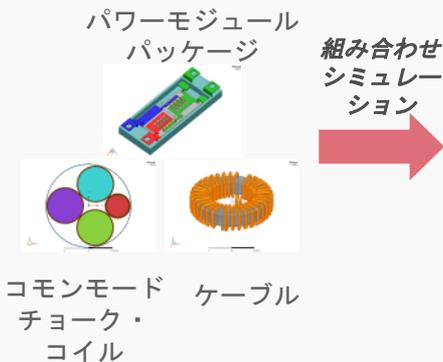
シミュレーション技術を用いて発電所などの熱問題を解析し、脱炭素や熱利用の効率化を実現





インバータの性能評価とノイズ対策

電気自動車開発で要求されるインバータの小型化や高性能化に対応するため、インバータ回路とパッケージ、バスバーやケーブルの寄生成分を組み合わせたシミュレーションを実施

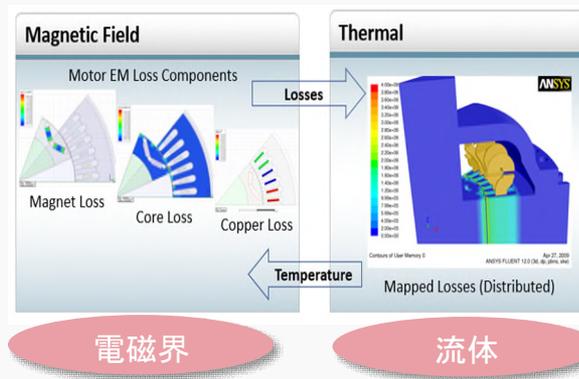


複数シミュレーションの組み合わせにより実際の状況に近い特性評価とノイズ量を評価



モーターの熱マネジメント

車載用で用いられる小型かつ特性向上で問題となる、発熱を管理する効率的な冷却設計を、電磁界と流体を組み合わせたシミュレーションを実施



明るい未来への貢献

- 2030年～2050年の未来では、持続可能性、地球視点での幸せが重要な価値軸になると考えられます。当社はシミュレーション技術で明るい未来の実現に貢献いたします。



ビジョン、ミッション

VISION

ビジョン

(将来のありたき姿 (存在意義))

技術とアイデアで、社会に
サステナビリティとサプライズを。

MISSION

ミッション

(ビジョンに向けて、現在の事業を通じて果たす役割)

想像を超える、創造力で、
課題のブレークスルーを導く。

1

サイバネットシステムについて

2

2022年12月期決算説明と2023年12月期予想

3

中期経営計画の進捗状況

4

参考資料

会社概要

名称	サイバネットシステム株式会社（東証スタンダード市場 4312） Cybernet Systems Co., Ltd.
本社	東京都千代田区神田練堀町3番地 富士ソフトビル
拠点	西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
設立	1985年4月17日
資本金	995百万円
代表者	代表取締役 安江 令子
社員数	571名（連結）、335名（単体）（2022年12月31日現在）
事業内容	CAE、MBSE/MBD、プラットフォーム、IoT/XR、サイバーセキュリティ分野のソフトウェア、サービス（技術サポート、コンサルティング、導入支援セミナー、CAE総合教育等）等の提供
開発元提携先	Ansys社、Broadcom社など米国中心に35社以上
連結子会社	<p>【国内子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">サイバネットMBS E株式会社 <p>【開発子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">Sigmatrrix, LLC（米国）Maplesoft（カナダ）Noesis Solutions NV（ベルギー） <p>【販売子会社】</p> <ul style="list-style-type: none">莎益博工程系統開発（上海）有限公司（中国）思渤科技股份有限公司（台湾）CYBERNET SYSTEMS MALAYSIA SDN. BHD.（マレーシア）

セグメント別形態別売上高

単位：百万円

	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
売上高	22,697	100.0%	19,936	100.0%	-12.2%
シミュレーション	18,685	82.3%	15,784	79.2%	-15.5%
代理店	13,733	60.5%	10,380	52.1%	-24.4%
自社開発製品	3,250	14.3%	3,512	17.6%	+8.1%
サービス	1,701	7.5%	1,891	9.5%	+11.1%
IT	4,012	17.7%	4,152	20.8%	+3.5%
代理店	3,478	15.3%	3,548	17.8%	+2.0%
自社開発製品	329	1.5%	343	1.7%	+4.3%
サービス	204	0.9%	259	1.3%	+26.8%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 第1四半期から、報告セグメントの名称について、「CAEソリューションサービス事業」は「シミュレーションソリューションサービス事業」へ変更。また、セグメントの区分を変更し、前年同期の実績は変更後のセグメント区分により記載。

形態別売上高

単位：百万円

	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
代理店	17,211	75.8%	13,929	69.9%	-19.1%
自社開発製品	3,580	15.8%	3,856	19.3%	+7.7%
サービス	1,906	8.4%	2,150	10.8%	+12.8%
合計	22,697	100.0%	19,936	100.0%	-12.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

※ 一部販売形態を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

地域別売上高

単位：百万円

	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [旧基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
日本	17,403	76.7%	15,242	76.5%	-12.4%
アジア	3,111	13.7%	2,153	10.8%	-30.8%
北米	1,381	6.1%	1,691	8.5%	+22.5%
欧州	741	3.3%	798	4.0%	+7.6%
その他	59	0.3%	51	0.3%	-12.9%
合計	22,697	100.0%	19,936	100.0%	-12.2%

※ 収益認識会計基準等の経過措置を適用（参照P.4）し、過年度の遡及修正は行っていないため、前期比は参考値。

[個別]業種別売上高

単位：百万円

	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
電気機器	4,493	26.7%	3,426	22.7%	-23.8%
機械・精密機器	2,797	16.6%	2,416	16.0%	-13.6%
輸送用機器	2,014	12.0%	1,832	12.1%	-9.0%
その他製造業	2,744	16.3%	2,571	17.0%	-6.3%
教育・官公庁	1,126	6.7%	1,391	9.2%	+23.4%
情報・通信	964	5.7%	869	5.8%	-9.8%
その他	2,695	16.0%	2,617	17.3%	-2.9%
合計	16,837	100.0%	15,124	100.0%	-10.2%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

※ 一部顧客業種を見直したため、前年同期の実績は組替後の金額を適用。

[個別] 契約形態別売上高

単位：百万円

	21/12期		22/12期		前期比
	実績 [新基準]	構成比	実績 [新基準]	構成比	
ライセンス形態	14,333	100.0%	12,637	100.0%	-11.8%
新規契約	4,249	29.6%	3,821	30.2%	-10.1%
更新契約	10,083	70.4%	8,816	69.8%	-12.6%
ライセンス形態以外	2,503		2,487		-0.7%
合計	16,837		15,124		-10.2%

※ 前年同期の実績は、収益認識会計基準で算出した、実績を比較するための参考情報。

IR室

〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地

E-MAIL

irquery@cybernet.co.jp

Webサイト

<https://www.cybernet.co.jp/>

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したのですが、その安全性を保証するものではありません。
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。